

食事用回転台の製作

1 相談内容

本人は、あごや口を使って道具を使用している男児です。食事の時に回転台を使用しており、もう1つ予備用として同じ台を作ってほしいとご両親と来所されました。本人からは、この食事用回転台が以前のものより軽い力で回転するようにしてほしいし、また、ご両親からは重量も軽く、食材をこぼしても布巾で拭き取れる素材で作ってほしいと希望されました。

2 利用者プロフィール

10代男性、先天性多発性関節拘縮症による身体障害者手帳1級であり、両親と暮らしています。本人は給食の時に回転台を使用しているとのことでした。

3 対応

TVを載せて向きを変えるターンテーブルを用意し、その上に円形に切った板を取り付けます。そこへ数本丸棒を立て、あごで回転させやすいようにコルクを付けます。

本人は、あごで台を回転させるので、コルクを長めにしてあり、あごを突き出さなくても回転させることができます。食事の際には、この回転台の上に円筒状のビンを置き、口でくわえたスプーンに食材をすくって、そのビンの上に置いてから食べるようにします。

なお、プラスチック製の受け台はストローを挿した牛乳などの飲み物を入れる場所として使用します。



食事用回転台の外観
(奥に円筒状のビンを置く)



回転の様子

4 結果

本人からは軽い力で回転するのでとても良いという評価をいただき、母親からは感謝の言葉をいただきました。